

令和4年1月5日

## 統計委員会対応精査タスクフォースの活動について

### 【対応精査タスクフォースの設置】

令和3年12月24日、統計委員会は、総務大臣の要請（※）を受け、建設工事受注動態統計調査に係る事案についての精査を開始するとともに、対応精査タスクフォース（以下、タスクフォース）の設置を決定しました。このタスクフォースは、建設工事受注動態統計調査に係る問題について、統計技術面を含めた公的統計の改善を進め、国民の信頼を回復するために、統計制度を所管する総務省政策統括官室（以下、統括官室）の本件に関する対応についての機動的、効率的かつ短期集中的な検証を行うためのものです。

（※）統計委員会における総務大臣の御発言（要旨）

（公的統計に対する信頼の回復に努めている中で、）このたびの「建設工事受注動態統計調査」に係る事案が発覚したことは、大変遺憾であります。

皆様には、なぜ、このような事案が生じたのか、早い段階で気づき改善することはできなかったのかなど、総務省における過去の対応を含めて、統計の専門家として第三者の立場から、経緯や原因の検証を徹底的に行っていただきたく存じます。

また、真に役立つ品質の高い統計を、将来にわたって確実に提供するために、どういった対策や仕組みを講じていくべきか、統計の専門家としての御知見も是非とも賜りたいと思います。

政府統計への信頼を取り戻すべく、いただいた御意見につきましては、総務省として、その実現に向けて、全力で取り組んでまいります。

### 【第1回会合の開催】

タスクフォースは、12月26日に第1回会合を開催しました。その際、次の点に合意しました。

- ・本精査が、この問題が生じた要因を客観的に明らかにするにとどまらず、適切な統計作成プロセスの実現を通じ、公的統計の改善につなげるために行われるべきものであること

- ・タスクフォースの調査事務を担当する事務局職員は、総務省行政評価局からの職員だけから構成すると共に、タスクフォースメンバーは従来自身が関与した評価分科会等に関わる対象者のヒアリングには原則として対応しないことで中立性を担保すること

また、回収率低下を考慮した推計の導入に係る時期以降を対象とするとともに、国交省とのやり取りが頻繁に行われた時期を重点的に精査することとしました。

#### 【現在の状況】

第1回会合後、年末年始においても政策統括官室の関連文書の検索・確認をするとともに、関係するポストにいた者（すでにOBとなっている者を含む。）に対する書面調査や、そのうち上記の重点的な精査を行う時期の在職者に対するヒアリングを精力的に行っています。

※ 令和3年12月24日の統計委員会においては、国土交通省から、現在分かっていることの説明を受けました。その際、統計委員会の委員からは、その時点での問題意識をお伝えしたところです。

#### 【今後の予定】

大臣からの要請を踏まえ、タスクフォースとしての取りまとめは、1月の半ばに行う予定です。

統計委員会としては、公的統計に対する国民の信頼を確保していく上で、今回の件は大変遺憾なことと考えており、タスクフォースの取りまとめ、国交省の検証委員会の検証結果において明らかにされた課題を踏まえ、公的統計の信頼の回復に向けて鋭意検討を進めていくこととしています。

令和3年12月24日  
企画部会

### 対応精査タスクフォースの設置について

建設工事受注動態統計調査における今般の事案に関して、統計法・統計行政を所管する総務省におけるこれまでの対応について、機動的、効率的かつ集中的に検証を行うため、以下により、企画部会の下に対応精査タスクフォース（以下、「TF」という。）を設置する。

- TFの構成員は、次のとおりとする。

座長	椿 広計	委員	（統計委員会委員長・企画部会長）
座長代理	津谷 典子	委員	（統計委員会委員長代理）
	川崎 茂	委員	
	清原 慶子	委員	
	清水 千弘	臨時委員	

- TF座長は、議事に関係があると認めた者の参加を求めることができる。
- TFの会合に係る議事概要は、事務局で取りまとめ、ホームページ上で公表する。
- その他TFの運営に関して必要な事項は、TF座長が定める。